

市立全中学校における2学期制実施について

1 概要

北九州市では、子どもの学びの充実と教職員が子どもと向き合う時間の確保を目的として、2学期制を段階的に試行実施してきた。

本年度は、小学校、特別支援学校および中学校7校で実施しており、各校においてその効果が見られている。

各校の効果を踏まえつつ、子どもの学びを一層充実させるとともに、義務教育9年間の一貫した教育環境を整えることなども目的とし、中学校においても、令和8年度から2学期制全校実施の方針を決定した。

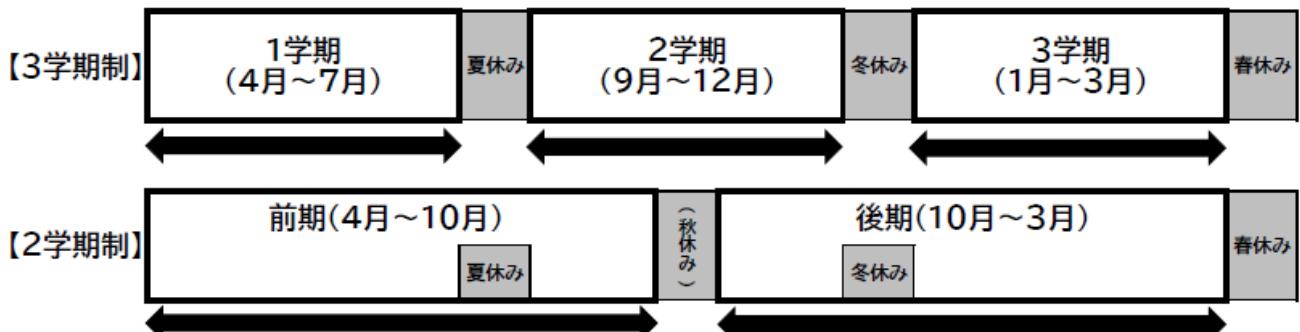
2 目的

子どもの学びの充実および教職員が子どもと向き合う時間の確保のため。

- これまで学期末に集中していた事務処理等を精選し、教員が子どもと向き合う時間を生み出すことで、一人一人のつまずきに応じた学習指導や教育相談など、個別最適な支援を行いやすくなる。
- 市立の全小・中・特別支援学校で2学期制を実施し、学期の区切りが揃うことで、保護者と連携した行事や学習活動をより柔軟に設定できるようになる。

3 現行の3学期制との主な変更点

- 学期を2学期制とし、前期・後期とする。
- 前期と後期の間に秋休みを設ける。（「スポーツの日」を含む三連休の翌々日までの5日間）



※秋休みの取得については、学校裁量となっております。

4 経緯

- 令和2年度 新型コロナウイルス感染症に伴う一斉休校による授業時数の不足への対応のため、市立小・中・特別支援学校で2学期制を実施
- 令和3年度 市立全特別支援学校の2学期制全面実施
- 令和3～6年度 希望する市立小・中学校の2学期制開始
- 令和7年度 市立全小学校の2学期制実施(小学校長会の方針を教育委員会が承認)
 - ・ 6月～10月 中学校長会「2学期制プロジェクト会議」等における意見交換等
 - ・ 12月 2学期制実施の方針を決定

5 今後の主なスケジュール

- 令和8年 1月15日(木) 各学校より保護者へ周知
- 4月 1日(水) 北九州市立小中学校等管理規則改正
市立全中学校で2学期制を全面実施

6 北九州市立小中学校等管理規則の改正について

本市では、令和3年度より市立全特別支援学校、令和7年度より市立全小学校が2学期制を実施している。

令和8年度より市立全小・中・特別支援学校が2学期制になることに伴い、現在は3学期制に沿って作成されている北九州市立小中学校等管理規則の一部を改正手続き中である。